

東北地方 1か月予報

(6月13日から7月12日までの天候見通し)

平成21年6月12日
仙台管区気象台発表

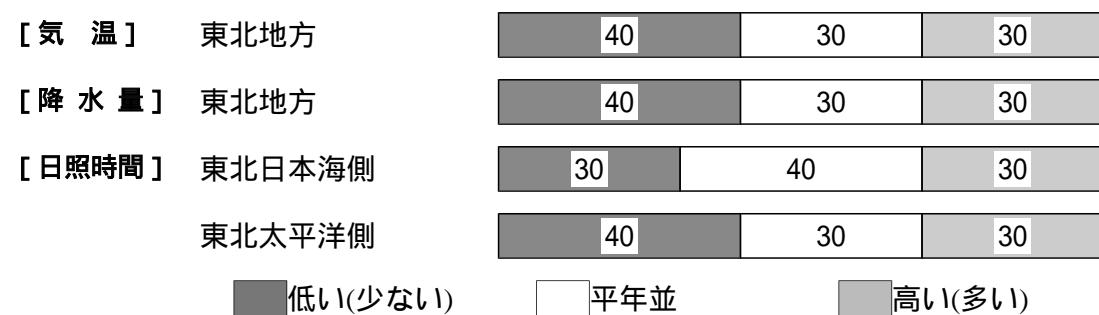
<特に注意を要する事項>

1週目は低温となる見込みです。農作物の管理等に注意して下さい。

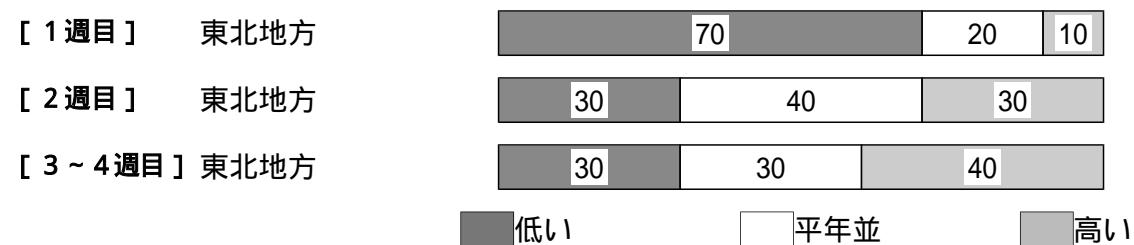
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。
週別の気温は、1週目は低い確率が70%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 6月13日(土) ~ 7月12日(日)
1週目 : 6月13日(土) ~ 6月19日(金)
2週目 : 6月20日(土) ~ 6月26日(金)
3~4週目 : 6月27日(土) ~ 7月10日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は6月19日
3か月予報:6月25日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	18.4	93.7	169.6	17.0	17.8	19.1
深浦	18.6	131.9	167.3	17.2	18.0	19.4
むつ	16.9	124.1	146.6	15.7	16.2	17.6
八戸	17.4	119.4	156.2	16.2	16.7	18.1
秋田	20.2	172.2	159.5	18.9	19.7	20.8
盛岡	19.4	144.6	134.0	18.3	18.8	19.9
大船渡	18.5	184.9	134.3	17.4	17.9	19.2
宮古	17.3	142.2	128.8	16.1	16.6	18.0
仙台	19.5	172.5	109.9	18.4	18.8	20.1
石巻	18.9	138.3	128.3	17.7	18.3	19.5
山形	20.7	134.7	133.7	19.7	20.1	21.3
新庄	19.9	179.6	132.9	18.8	19.3	20.5
酒田	20.6	179.4	155.1	19.5	20.0	21.2
福島	21.0	149.8	113.2	20.0	20.3	21.6
若松	21.0	160.6	139.8	20.0	20.4	21.6
白河	19.6	200.6	106.0	18.5	18.9	20.2
小名浜	19.5	167.5	122.6	18.3	18.9	20.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.4	88 ~ 115	91 ~ 109
東北日本海側	-0.5 ~ +0.3	81 ~ 109	92 ~ 106
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.5	87 ~ 109	89 ~ 112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.5
東北日本海側	-0.6 ~ +0.3	-0.5 ~ +0.5	-0.5 ~ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.4	-0.7 ~ +0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年6月12日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月 (6月13日～7月12日) :

東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

1週目は低温となる見込みです。農作物の管理等に注意してください。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目 (6月13日～6月19日) :

気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。期間の前半は晴れるところもある見込みです。

平均気温は低い確率が70%です。

2週目 (6月20日～6月26日) :

前線やオホーツク海高気圧の影響により、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4週目 (6月27日～7月10日) :

前線やオホーツク海高気圧の影響により、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

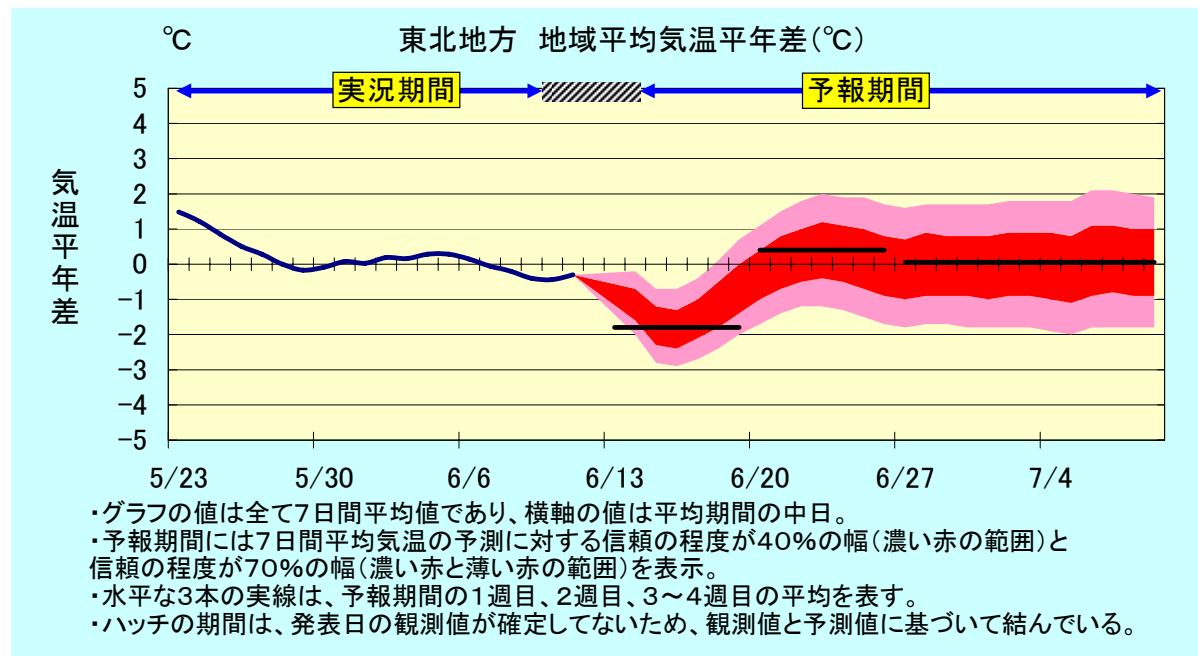
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	11.7日	3.4日	2.9日	5.4日
東北太平洋側	9.9日	2.9日	2.3日	4.7日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を下回り、2週目、3～4週目はともに平年付近の予想となっている。

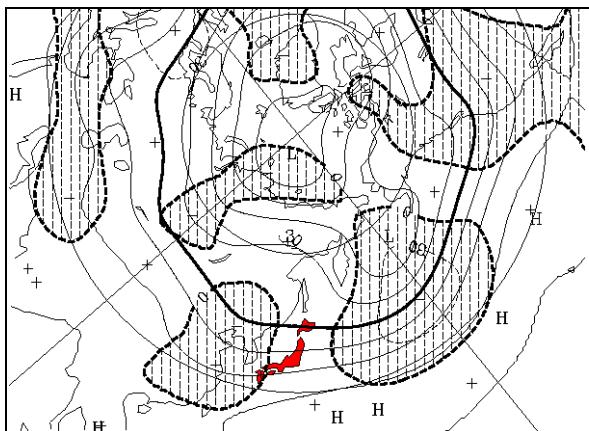


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 極東域の中緯度帯は正負の波列が見られる。日本付近は正偏差となっているが、850hPa 気温予想図(図略)では負偏差。オホーツク海付近は気圧の峰となっていて、オホーツク海高気圧の影響を受ける時期がある見込み。

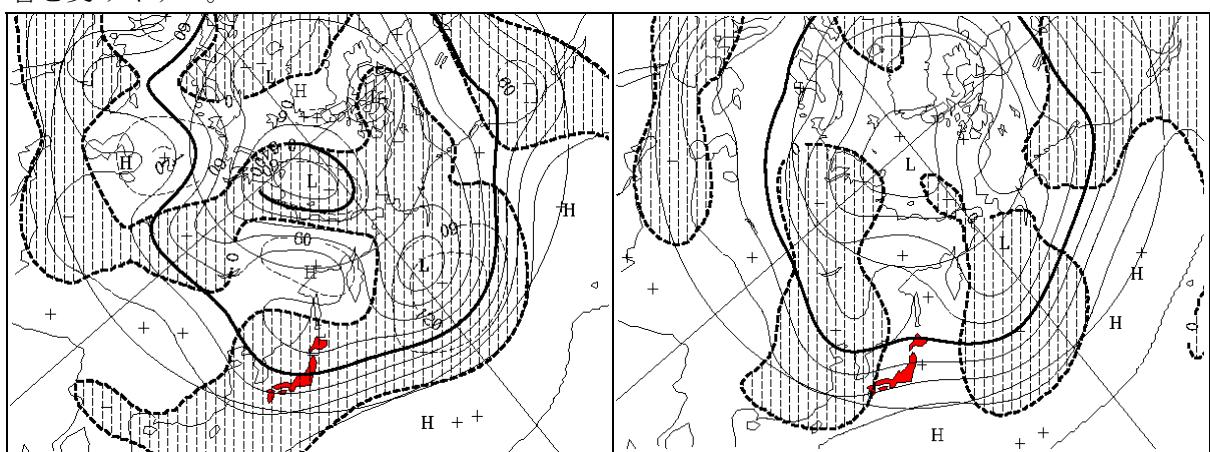
1週目: 日本付近は気圧の谷となっていて、寒気の影響を受けやすく低温傾向。地上予想天気図(図略)ではオホーツク海高気圧が明瞭。東北太平洋側は湿った東風の影響を受け、ぐずついた天気となる見込み。

2週目: 1週目に比べて日本の南海上で高気圧が強まり、梅雨前線は本州南岸付近まで北上する見込み。東北太平洋側は引き続き湿った東風の影響を受けやすい。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

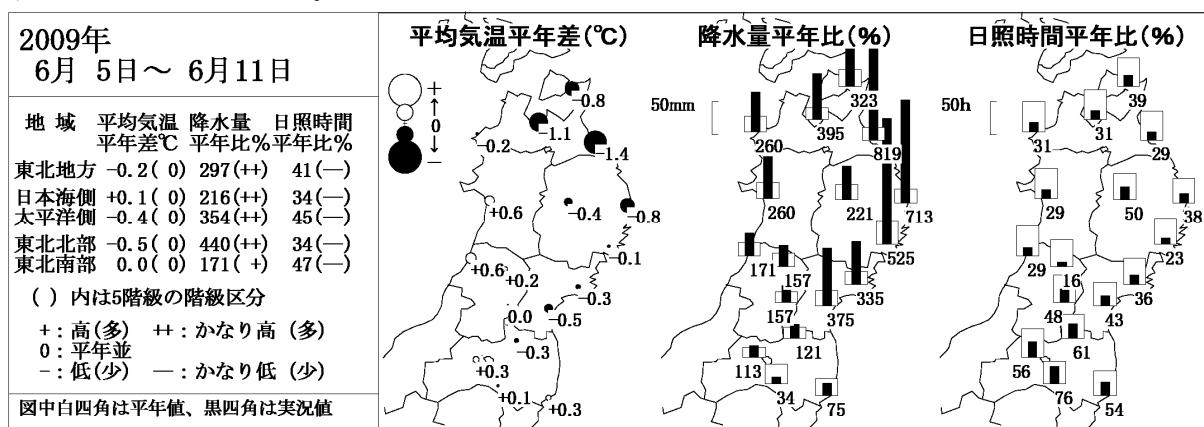
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (6月5日～6月11日) の天候の経過

この期間、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、日照時間はかなり少なかった。5日から7日にかけては、日本の南岸にあった低気圧が発達しながら三陸沖を北上した影響により、東北太平洋側で大雨となったところがあり、岩手県では浸水害や山がけ崩れ害が発生した。また、11日は日本海低気圧と南岸低気圧の影響により、東北日本海側を中心にまとまった雨となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)